

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ラララ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年11月16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年11月16日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者やお子様などと、情報共有を行っています。	・保護者様に、日ごろの様子を伝えたり、ご相談やご要望を聞き取りを行い、問題解決や改善策に取り組んでいます。	・引き続き、保護者様のニーズに応えられるように、日ごろの様子をしっかりと伝え、必要に応じて関係機関との連携をしっかりと行い、保護者様の不安や悩みの対応を行います。
2	・日頃の個人の能力に合わせた療育や、マンツーマンでの支援を提供しています。	・本人のやる気を意思を尊重し、保護者様と連携を取りながら、無理のない程度に活動や課題に取り組んで頂いております。	・ご利用者様のご様子を確認しながら、無理のない範囲でスキル向上を目指せるような、療育を取り入れます。
3	・事業所内での、異年齢交流を行っています。	・小学生～高校生までの児童が、代休日などで朝からご利用されている時は、一緒になって遊んだり、交流を深められるように、取り組んでいます。	・より一層交流を深められるように、各イベントや行事の充実化を図ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の児童などの交流が少ない。	・現在、児童発達支援でのご利用頂いているお子様が、1名様だけなので、横の繋がりが地域との交流が少ない。	・地域散策に出かけた時に、近隣の児童との交流が楽しめそうなら、行わせて頂いています。ですが、今後どのように地域との交流や連携を図っていくか検討していきます。
2	・保護者同士が交流する場、機会の開催が少ない。	・定期的に保護者会を設けているが、児童発達でのご利用者様が現表少なく、横の繋がりが少なく感じてます。	・引き続き、保護者交流会の場を広げ、保護者様同士の交流や、連携の機会を増やします。
3	・児童発達支援センターなどの、関係機関との連携が少ない。	・児童部会に保護者会を設けているが、現状関係機関との連携が取れていない。	・他事業所や、関係機関との交流を深め、保護者様も参加できそうなイベントなどを共有します。